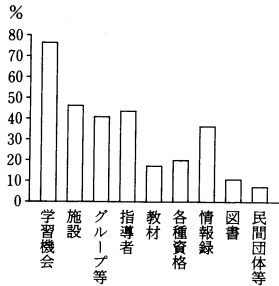


〈質問5〉あなたは、「学習情報提供システム」の情報について、次のうちどんなことを一番知りたいと思いますか。次の中から順に3つ選んでください。(回答者917人)

1. 学習機会(各種学級・教室・講座などの内容・期間・場所等に関する情報)
2. 施設((生涯学習施設などの所在地・利用方法・設備等に関する情報)
3. 団体・グループ(グループ・団体などの活動内容・参加方法等に関する情報)
4. 指導者(講師、指導者の氏名・指導内容・連絡先等に関する情報)
5. 教材(視聴覚教材等の内容・利用方法・種類・取得方法等に関する情報)
6. 各種資格等(資格・試験・技能・検定等に関する情報)
7. 情報誌(情報を得ることのできる宛て先に関する情報)
8. 図書(統計資料、テキスト、広報紙等に関する情報)
9. 民間団体・企業(教育産業・企業等に関する情報)



(三) 広報活動と学習相談
 県民の生涯学習への啓発広報紙として、「生涯学習ふくしま」を年四回発行し、学習機会や県内で活動している学習グループや施設等を、広く紹介しています。また、県民の生涯学習に関する様々な学習活動の問い合わせや学習相談にも社会教育課、及び各教育事務所で対応しています。

からも必要な情報を直接引き出せるパソコン通信によるネットワークも将来構想として考えております。

行っていくために、市町村の情報拠点を中心に図書館・博物館・その他の教育機関及び民間施設等を含めた関係機関との学習情報の収集・提供等のネットワーク整備を図ります。

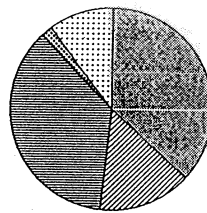
なお、市町村の生涯学習情報提供システム整備には、県の事業と平行して年次計画により、国の補助事業導入により、パソコン設置と併せ、市町村の情報提供体制を整備して、全市町村とのネットワークの構築を目指します。

さらには、学校及び学習者

〈質問6〉あなたは、コンピュータを利用した「学習情報提供システム」に対して、何を期待しますか。次の中から1つ選んでください。(回答者906人)

1. 豊富で各種各様な情報が、簡便な手続きで得られること
2. 迅速かつ正確に情報が得られること
3. 必要とする情報が容易に検索できること
4. 自然画情報が行われること
5. すべての人に公開された情報が得られること

【全体】



項目名	人	%
多様な情報	330	36.4
迅速な検索	138	15.2
容易な画情報	326	36.0
自然画情報	17	1.9
公開情報	95	10.5
合計	906	

〈表3〉

専修学校開放講座

学習内容	開放専修学校	開催地
シルクスクリーンの技法	福島文化学園 造形文化専門学校	福島市
ワープロに親しむ	福島情報学園 福島情報カレッジ	福島市
身近な材料による パッチワーク	今泉学園 今泉女子専門学校	郡山市
基礎ワープロ入門	郡山学院 郡山経済専門学校	郡山市
身近な看護と健康	財団法人白榆会 白榆看護専門学校	会津若松市

(四) 生涯学習モデル市町村事業
 人々の生涯にわたる学習活動を援助し、生涯学習を地域ぐるみで推進する「生涯学習モデル市町村事業」は、平成二年度までに県内の二十一日町村を指定し、全県的な生涯学習によるまちづくりの推進体制の整備に努めています。平成三年度は、新たに二本松市、白沢村、都路村、矢祭町、熱塩加納村、伊南村、飯館村の七市町村が指定され、それぞれ、推進組織づくりなど体制の整備に努めているところです。

〈表4〉

大学の機能を生かした公開講座

講座名・対象	学習主題・学習内容	大学名
福島女性カレッジ (成人女性一般)	食生活経営コース (講義・実習・通信講座)	郡山女子大学
大学開放講座 (成人一般)	人間性豊かな暮らしを目指して (文化・情報・経済関係講座)	いわき短期大学
さわやかレディーズ セミナー (就労婦人)	文章作法と秘書実務 (家庭通信講座)	福島女子短期大学

(五) 生涯学習県民講座の開設
 県民のだけれもが自由に参加できる学習機会の提供を通じ、生涯学習の普及を図るため、社会教育課を窓口として様々な事業が開設されています。

① 学校教育と連携して
 ◇高等学校開放講座
 県立高等学校との連携による開放講座は、昭和六十年から県下各地で開講され、各学校、各教科の特性に応じた学習機会の提供が図られています。(P40に詳述)

◇専修学校開放講座
 専修学校のもつ専門的教育機能を地域に提供する学習機会として昨年から開設されました。本年度は、県